

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 5 区分
【発行日】 令和 6 年 9 月 2 日 (2024.9.2)

【公開番号】 特開 2023-44037 (P2023-44037A)
【公開日】 令和 5 年 3 月 30 日 (2023.3.30)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-059
【出願番号】 特願 2021-151865 (P2021-151865)
【国際特許分類】

B 6 0 C 11/03 (2006.01)

10

B 6 0 C 11/13 (2006.01)

B 6 0 C 3/04 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 11/03 2 0 0 Z

B 6 0 C 11/13 C

B 6 0 C 11/03 3 0 0 A

B 6 0 C 11/03 Z

B 6 0 C 11/03 C

B 6 0 C 11/03 B

B 6 0 C 3/04 Z

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 8 月 23 日 (2024.8.23)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 請求項 2
【補正方法】 変更
【補正の内容】

【請求項 2】

タイヤ外径 OD [mm] に対する、溝面積比 A_a [%] の比 A_a / OD は、 $0.010 \leq A_a / OD \leq 0.180$ の関係を満たす請求項 1 に記載のタイヤ。 30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0205
【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0205】

〔溝面積比〕

図 8 に示すトレッド面を有するタイヤ 1 において、タイヤ外径 OD [mm] に対する、トレッド部の溝面積比 A_a [%] の比 A_a / OD が、 $0.010 \leq A_a / OD \leq 0.180$ の関係を満たすことが好ましい。タイヤ外径 OD が小さければ、接地面の低下によるウェット性能の低下および高積載による摩耗性能の低下が懸念される。このため、比 A_a / OD を上記のように規定することで、ウェット性能と耐摩耗性能とを両立できる。 40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0206
【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0206】

溝面積比は、トレッド部の所定領域に配置された溝面積の総和と当該領域の面積との比 50

である。溝面積比「 $\%$ 」は、 $\text{溝面積} / (\text{溝面積} + \text{接地面積}) \times 100$ により定義される。溝面積とは、接地面における溝の開口面積をいう。また、溝とは、トレッド部の周方向溝、細溝および横溝（ラグ溝）をいい、サイプやカーフを含まない。また、接地面積とは、タイヤと接地面との接触面積をいう。また、溝面積および接地面積は、タイヤが規定リムに装着されて規定内圧（ 230 kPa ）を付与されると共に静止状態にて平板に対して垂直に置かれて規定荷重（最大負荷能力の 80% 荷重）に対応する負荷を加えられたときのタイヤと平板との接触面にて、測定される。

10

20

30

40

50